

第69回日本農村生活学会大会開催要領

1. 趣 旨：

2021年度の日本農村生活学会シンポジウムが茨城県つくば市で開催されるにあたり、シンポジウムテーマを「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」に設定しました。

つくば市は1987年に町村合併により誕生しました。1970年以降、筑波学園都市建設とともに都市住民が移住し、旧住民・新住民、そしてつくば市で生まれ育った住民が、50年の年月をかけて、現在のつくば市を作り上げてきました。また、2005年のつくばエクスプレス開業により、住民の利便性が高まり、東京との距離が近くなりました。

一方でつくば市は、県内で第2位となる10,800haの広い農地資源を有しており、米・野菜・果実など多様な農産物が生産されています。また、認定農業者や認定新規就農者が増加しており、多様で活力のある農業の担い手が存在しています。

このように、つくば市は、豊富な農産物が生産される一方で、多くの新しい市民が居住するまちでもあり、農産物の生産地と消費地が共存するという特徴を持っています。

また、つくば市では2020年12月に「第2次つくば市農業基本計画」を策定しましたが、そこで目指すべき農業のすがたを「多様な力がつながり実現する持続可能な農業」としています。

このような農業の方向性は、つくば市だけでなく、日本の多くの市町村で参考にするべき目標であり、コロナ禍のもとで再評価されている、ローカルフードシステムの考え方にも近いものでもあります。

そこで今季大会シンポジウムでは、「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」をメインテーマとします。そうした農業の具体的な姿として、CSA、農福連携、新規参入者による直売型農業などの事例を報告して頂き、さらに、こうした農業を支援する市町村の計画づくりと支援施策についても、ご報告頂きます。その後、ご報告をもとに、全員で議論を行います。

ラウンドテーブルも、シンポジウムに連続した内容とします。CSAを実践する農家、筑波大学の農業サークルのOBで、卒業後、笠間市で第三者継承による農業参入を計画している若者など、多様な形で「つながる農業」を実践している方に活動の内容をご紹介いただき、参加者からの質問や報告者相互の議論を自由にして頂きます。

なお、参加申込書やプログラムの詳細につきましては、学会HPをご覧ください。

<https://www.ruralife.org/>

2. 主 催：日本農村生活学会

3. 開催日時：令和3年10月9日（土）～10日（日）

4. 開催場所：茨城県つくば市 オンライン開催

5. 開催内容：

【1日目（土）】

※Zoom 接続開始 12：45

（1）開会挨拶 13：00～13：10

学会長挨拶：安倍 澄子

大会委員長挨拶：納口 るり子

シンポジウム準備 13：10～13：15

(2) シンポジウム 13:15~16:00

テーマ「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち」

座長： 原 珠里（東京農業大学）

座長解題 13:15~13:30

報告：

(1) 農研機構農村工学研究部門 唐崎 卓也

「日本における Community Supported Agriculture(CSA)の展開」

13:30~13:50

(2) つくば市経済部農業政策課 根本 隆・筑波大学 納口 るり子

「つくば市がめざす農業の姿と多様な農業者の支援」 13:50~14:10

(3) NPO 法人 つくばアグリチャレンジごきげんファーム

代表 伊藤 文弥

「障害のある人たちがごきげんに暮らせる地域を農業で創る」

14:10~14:30

(4) 川上農園 川上 和浩

「新規就農者が考える”お抱え農家”の在り方」 14:30~14:50

休憩 14:50~15:00

質疑応答と議論 15:00~16:00

(3) 2021年度学会賞についての報告 16:00~16:10

(4) 学会総会 16:10~17:00

【2日目 (日)】

(1) 一般報告 7題を予定 9:30~11:50

※1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

(2) 休憩 11:20~13:00

(3) ラウンドテーブル 13:00~15:00

「生産者・消費者・住民の力をつなげて作る農業のかたち：続編」

(1) 座長挨拶 茨城県農業総合センター

小船 久美

13:00~13:10

(2) 事例報告1 つくば飯野農園 飯野 信行・恵理 (CSA 実践農家)

「地域とつながる農業を目指して」

13:10~13:30

(3) 事例報告2 笠間市地域おこし協力隊 川島 拓 (学生時代に筑波大学「のうりん村」で活動)

「第三者継承でつなぐ地域の農業」

13:30~13:50

休憩 13:50~14:00

質疑応答と議論 14:00~15:00

コメンテーター 宇都宮大学 西山 未真

農研機構本部 NARO 開発戦略センター 澤野 久美

(4) 閉会挨拶

15 : 00~15 : 10

6. 参集範囲：日本農村生活学会会員、普及担当部局、農業関係試験研究機関
関係大学、団体など

7. 参加費等：大会参加費（要旨代を含む）

日本農村生活学会正会員	2,000 円
非会員	2,000 円
学生会員および非会員の学生	無料

8. 大会に関する問い合わせ先：日本農村生活研究大会委員会

E-mail : rsj2021@csa-net.sakura.ne.jp